



KARIBIB の回想



2023 年度 1 次隊/数学教育/渡辺 崇人

2023 年 12 月 5 日 Vol.6

今日は、平日の自分の 1 日のスケジュールについて紹介します。

Part 1 課業時間

5:00~6:30	6:30~7:10	7:10~10:30	10:30~11:00	11:00~13:00
起床/ 準備	朝の ミーティング	授業（第 1 部）	休憩	授業（第 2 部）

①起床/準備

ナミビアの学校の始業時間はシーズンによって異なります。しかし、いずれにせよ早く、冬季だと 7:30 までに、夏季だと 6:30 までに職員は出勤しなければなりません（現在は夏季であるため、後者です）。そのため、必然的に起床時間も早くなりました。日本にいた頃は完全な夜型でしたが、こちらへ来てから変わりました。

②朝のミーティング

日本同様、朝の打ち合わせをします。この国は国民の約 9 割がキリスト教信者であるため、昨日を無事に過ごせたことへの感謝や今日を安全に過ごせることへの祈りを神様に捧げることから一日が始まります。当番制で、当番に当たった人は聖書の一節を読み上げたり、過去の印象深かったエピソードを紹介したりした後、皆で祈りを捧げます。自分が当番の日は日本のことを少し紹介しています。その後、会議報告や諸連絡、生徒情報の交換等事務連絡があります。また、その日に誕生日の先生がいれば、皆で Happy Birthday を歌い、お祝いします♪同僚は特に意識せず歌っていますが、今まで聞いた Happy Birthday の中で一番上手く、この曲で鳥肌がたったことは初めてです。



写真 1：朝の打ち合わせ前の一枚

ここでお祈りと、打ち合わせを行います。

③授業

ミーティングが終われば授業で、1 コマ 40 分です。ただ、ナミビアの学校はどこもそうだと思いますが、おそらく一度生徒を放すと教室に戻すのに時間がかかるため、基本的に授業と授業の合間に休み時間はありません。しかし、生徒は試験期間を除いて、授業毎に教室を移動するため（居眠り防止のためらしいです）厳密には 40 分間の授業時間を確保できません。第 1 部で 5 コマ、第 2 部で 3 コマの一日計 8 コマです。今年は試用期間ということで自分は持ちコマを抑えてもらっているため、空いた時間は CP（カウ

ンターパートと呼び、配属先で主に仕事について教えてくださるパートナーのことです)のご厚意で、授業と一緒に参加させていただいています。数学の内容自体はそこまで難しくないので初見でも理解できますが、何より英語の使い方や言い回しが勉強になります。次回の通信で授業の詳細について紹介させていただきますね。

④休憩

ここが唯一の業間休みになります。この時間は外部の方が来校し、お菓子や軽食を販売しています。職員はもちろん、生徒も購入できます。この中で特にオススメなのが魚です(写真2)。Vol.4で少し言及しましたが、魚は海沿いの都市でないとなかなか手に入りませんが、ここでは購入できます。値段は一匹 N\$6 (≒48円)と手頃です。余談で、売っている方に「この魚どこで仕入れているの?」と聞いてみましたが、企業秘密なのか教えてくれませんでした(-_-)。同僚は、おそらくスワコップムントやウォルビスベイといった海沿いの都市だろうと言っていました。秘密なだけあって、ピリッとした辛みが癖になる味で、お肉より好きかもしれません。



写真2：休憩時間に販売されている魚

レストランでもそうですが、こちらでは、魚は揚げたものが提供されることが一般的です。そのため日本人は生魚を食べるよと言うと大変驚かれます。

Part2 放課後

13:00~15:00	15:30~16:30	16:30~17:00	17:00~	18:00~	23:00
※ 日本語 クラス	※ 数学補習	残務	帰宅/ 近所で サッカー	残務/食事 その他	就寝

⑤日本語クラス

これは、赴任して2週間くらい経った頃にとある生徒から「日本に興味があるから、日本語を教えて欲しい」と話しかけられたことをきっかけに始めました。開講は生徒の都合に合わせて不定期ですが、だいたい週に3・4回行っています。また、参加人数も都度前後しますが、毎回来ているのは二人です。この二人はモチベーションが高い上に、本当に習得が早く、後一年継続すれば簡単な日常会話はできるようになると思う程です。これも詳細は vol.8 で紹介しますね。

⑥数学補習

これは、冬季より一時間早く学校が終わる夏季の放課後を勉強時間にあてるべく、曜日とクラスを割り振って、生徒が自宅で昼食を取った後に該当クラスを再登校させ勉強させようという学校の取り組みです。ただ、再登校率が50%を切っていること、再登校した生徒も基本は自学自習なため、放っておくと全く勉強していないことが課題としてありました。そこで木曜日が持ちクラスの生徒の登校日であるため、許可をいただいて、試験的にその曜日のみ数学の補習を始めました。内容は主に復習です。日本と同じようにプリントを作ってそれを基に進めています。もちろん、再登校しない生徒も

います。一方で毎回参加している生徒もいます。そのため、今後はデータをもう少し集めて、継続的に参加している生徒とそうでない生徒の成績を時系列で追って比較し、補習の在り方についての改善策を模索していこうと考えています。

⑦残務

補習の後、学校が閉まるまでは片付いていない仕事を片付けます。基本的には翌日の授業の準備になりますが、突発的な仕事を任されることもあるため、内容は日によって異なります。今までは、小テストの採点、成績処理（全科目の中間試験と最終試験の平均が7割以上の生徒を全科目全員抽出して欲しい等）、校舎の図面を描く（といっても素人で描ける簡単なものです）、机や椅子のうち不良品の解体等、一つひとつは時間をかければそれほど大変ではありません。ただ、最も焦ったものが最終試験の作成です。Karibibの場合、近隣の学校も同じ試験を受験するため毎年どこかの学校が問題作成を担当します。そのうち、今年はGrade8の数学の割り当てが弊校でした。その上、総ページ数20程のテスト2種類とその解答を納期4日以内という条件付きです。他校も受験するため、流石にこればかりはほぼ徹夜・土日返上でCPと相談しながら作りました。何とか完成してよかったです(・ω・)ノ

⑧近所でサッカー

夏季は暑すぎるためやっていませんが、近所にテニスコート大の広場があり、そこでウチの生徒達がサッカーをしています。参加人数は日によって異なりますが、多い時で30名程度です。時間があれば基本的に顔を出しています。ただ、たかが遊びのサッカーとはいえ、身体能力が高く、途中からついていけなくなります(/o\)。それでも十分な用具がない環境下で、真剣にかつ純粋にサッカーを楽しんでいる姿は見ていだけでも楽しめます。これも vol.9 で紹介しますね。



写真3：近所の広場でのサッカーの様子。
遊びの中でも真剣さが垣間見えます。

⑨その他

基本的には学校で終わらなかった仕事の続きをやります。それ以外では日本のいくつかの高校から交流事業に関する提案をいただいているためその打ち合わせや日本の卒業生・他国の派遣ボランティアとの電話、自身の勉強をして過ごすことが多いです。帰宅して少ししてから始め、気付いたら23時だったなんてこともしばしばです。ただ、日があるうちに帰宅できることは日本では考えられなかったため今でも不思議な感覚です。また、何かしらやることがあることは幸せだなと日々思います。一方、配属先には自分が考える課題が山積しており、こうなればもっといい方向に進みそうだなと思うことがたくさんあるため、取り組んでみたいことを挙げればキリがありません。残りの期間でそのうちのいくつに着手でき、どれだけ形にできるかは分かりませんがやれることをすべてやって帰国し、その経験を国内で還元できればと思います。

次回：授業の一部様子について紹介します！